

長編音楽ドキュメンタリー映画

# 荒木栄の歌が 聞こえる

95分

港 健二郎 監督作品

1960年、あの歴史的な三井三池闘争を歌で励ました男がいた!!!

労働者作曲家・荒木栄

炭鉱合理化反対闘争のなかで、歌に込めた栄の思いは何だったのだろうか?

没後45年。

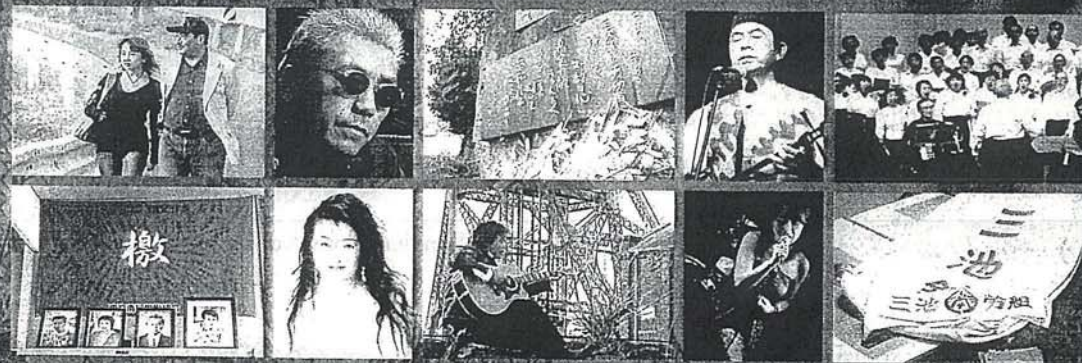
夭折の天才が残した「がんばろう」「地底のうた」「星よおまえは」「我が母のうた」などの名曲が、

今、映像で甦る!!!

日本の産業発展を根底から支え、

今は打ち棄てられた三池、筑豊、夕張に流れる荒木栄の歌...

それは、格差社会が深刻化する現代社会を告発する。



リポーター: hizuki

出演: 大工哲弘 ミネハハ ミヤギマモル 関島秀樹 嘉門達夫  
ソウル・フラワー・モノノケ・サミット かりゆしバンド

■プロデューサー: 藤田 祐司 ■撮影: 藤田 祐司/山崎 暁一郎 ■演出助手: 古閑 靖人/バク・チョンギ ■編集: 原田 圭輔  
■MA: 中川 和哉 ■宣伝美術: 北林 智 ■宣伝担当: 西田 繁俊 ■配給プロデューサー: 吉田悦夫  
■制作: 株式会社アートヒルズ ■企画・製作: 「荒木栄の歌が聞こえる」製作委員会 ■構成・監督: 港 健二郎

「荒木栄の歌が聞こえる」ホームページ [www.arakisakae.com](http://www.arakisakae.com)

配給: 東京ビジネスサーチ

歌は、地位も何もない人たちが持つ、唯一の血を流さない武器です。  
(音楽評論家・作詞家 湯川れい子)

# 荒木栄の歌が 聞こえる



http://www.arakisakae.com

## 解説

・・・1960年、三井三池争議の中で、  
彗星のように現われ数々の歌を残した荒木栄。  
争議終結2年後の62年秋。栄は、38歳の若さで夭折。

しかし、彼の残した「がんばろう」の歌は、  
今も、様々な闘いの中で歌われているだけでなく、  
若い世代のソウル・フラワー・モノノケ・サミットなども新たな意匠で歌い続けている。  
また、70年代のプロテストソングの先駆けの一人となった高石ともやにとつて、  
荒木栄の存在は小さくないという・・・  
この映画は、荒木栄の生き方を探る若きシンガー・hizukiにより沿いながら、  
今だに歌い継がれる「がんばろう」などに籠められた  
我が国の闘う労働者の想いを浮き彫りにしながら、  
時代と歌のかかわりを追求していく・・・  
格差社会がますます深刻化する中、明日を切り開くためにこそ、  
今、人々の心をひとつにする歌の必要性が鋭く問われているのではなかろうか・・・  
よみがえれ!!歌。

## 内容

2007年春、神戸在住の若きシンガー・hizukiは、大牟田出身の監督・港健二郎とともに、  
あの三井三池闘争の舞台となった大牟田市を訪ねます。  
三池炭鉱の石炭で発達したこの街に生まれ、三井三池製作所で働きながら  
38歳で生涯を閉じるまでに70曲あまりを残した荒木栄。  
その没後45周年と栄が活躍した大牟田センター合唱団の創立50周年を記念して、  
「地底のうた」が歌われます・・・ト有明の海底深く 地底に挑む男たち・・・

今もお歌われる荒木栄の歌や人柄の魅力とは何か?  
hizukiたちは、栄からの影響が大きかった人々を訪ね、その謎に迫ります。  
栄の戦場の後輩・早瀬朝徳さんは、「歯ブラシで爪の垢を落とす」栄の几帳面さを。  
高校を卒業してすぐ三池闘争中に栄と多感な時代を過ごした川上洋さんは、  
栄の芸術の本質はヒューマンイズム、と。  
「青い空は」で知られる作曲家の大西進さんは、  
栄の音楽の特質として、大衆性、戦闘性、芸術性、革命性を。  
一方、沖縄民謡の大家・大工哲弘さんは、  
1970年代前半の沖縄返還闘争時に歌われた「沖縄を返せ」を今も歌っています。  
「沖縄へ」と歌い替えながら。  
そんな大工さんが言います。「歌は保存していると古くなる。  
新たに歌いかえし、日本中が、また、歌の力で一つになるのを見てみたい」。

栄の歌たちは、そのほとんどが合唱曲ですが、  
この映画では、第一線で活躍するアーティストが、ソロで歌い、  
栄の歌の魅力を新たに引き出しています。  
これも、栄を通じて、現代社会を捉えなおしてみたいという  
この映画の新しい挑戦でもあり、見所の一つです。  
そして、日本のフォーク運動の生みの親のひとり高石ともやさんからは、  
衝撃の証言が・・・



- プロデューサー：藤田 祐司
- 撮影：藤田 祐司/山崎 統一朗
- 演出助手：古閑 詩人/ハク・チョンギ
- 編集：原田 圭輔
- MA：中川 和哉
- 宣伝美術：北林 智
- 宣伝担当：西田 景俊
- 配給プロデューサー：吉田 崇夫
- リポーター/hizuki
- 出演/大工哲弘 ミネハハ ミヤオマモル  
関島秀樹 森門達夫  
ソウル・フラワー・モノノケ・リミット  
かりゆしバンド
- 制作：株式会社アートヒルズ
- 企画・製作：「荒木栄の歌が聞こえる」  
製作委員会
- 配給：東京ビジネスサーチ
- 構成・監督：港 健二郎

お問い合わせ：東京ビジネスサーチ TEL:03 (3369) 2535 E-mail:tokyobs@ro.bekkoame.ne.jp

- ・と き 平成 22 年 3 月 13 日 (土) 午後 2 時
- ・と ころ 三笠市民会館 202 号室
- ・チケッ ト 1,000 円 (高校生以上)
- ・販 売 先 事務局及び市役所売店
- ・後 援 三笠市文化協会・炭鉱ナビ
- ・主催、問い合わせ先 みかさ炭鉱の記憶再生塾事務局・伊佐治 ☎ 3 7 9 5